

未曾有ノ打撃ナリト稱セラル、
 以上ハ單ニ盤谷市ニ於ケル大體ノ状況ナルカ尚
 田舎地方ニ於テモ支那人ノ在留普遍的ナル爲、
 其ノ地在留ノ邦人ハ雜貨商、寫眞師、醫師等
 ノ受ケタル打撃ハ亦甚カラス、就中馬末半島地
 方ニ於テハ暹羅丈ニテ邦人ノ在留スルモノ三十人ニ及
 ビ又支那人ノ在留亦頗ル多キ爲、彼等邦人カ
 直接間接ニ受ケタル損害ハ亦可ナリ大ナリト報
 セラレタリ

三井物産株式會社

東京市日本橋區本町二丁目一番地
 三井物産株式會社
 船舶部東京出張員

(578) A1120.24

昭和三年十月廿九日
 外務省通商局長ニ呈
 菅 和 三 郎 殿
 拝啓
 人心の激濁、この海、東洋の繁華、陳者先收格品の高配、賜り、
 架社船生船丸、盤谷港、儀、状況其他、付別紙、傳了、報告、等、之、向
 内、考、進、不、再、教、止、移、報、申、上、夫、

先、右、不、再、教、止、等、子、内、送、知、承、上、此、智、系、

AR

580

矢田部公使より別紙写し通報告アタルニ付右
 茲ニ送付ス

昭和三年十二月七日附在暹公使館来分第百五號附属
 書之字作製添付ノ下

(原議用紙乙)

外務省

3.2

579

通案

412.1112

要為二部

亞細亞局了

文書課發送		昭和四年壹月壹日發送済		淨書	
主 管		通商局長		正(原稿)ノ下(淨書)ノ下	
主 任		通商局長		附屬書	
受 信 人 名		商工省副島商務局長		發 信 人 名	
件 名		排日貨物御考査報告書		綴 込 名	
本件之関シ		昭和三年十月八日附高局第二二九八號貴信御申越ノ報ヲ承テ早速關係各公館ニ對シ査報方訓令相成リタル如ク般在暹		外 務 省	

24 78

582

在セシメステ全方面ニ於ケル邦商ヲシテ直接
 消費者ニ供給セシメ以テ局面ヲ根底ヨリ一新スル
 ノ策ヲ立ツヘキ好核會ナリトシ之ヲ実行方法ニ關シ
 有價傳意見ヲホメ来レニ對シ別紙寫ノ通リ回答
 シ置キタル旨報告アリタルニ付當御参考在茲ニ送付ス
 ✓昭和三年十一月廿九日在暹 矢田部分使来公第一〇號
 附屬書ノ寫作製添付

外務省

3.3

(原議用紙乙)

581

通案



4441112

公信案

外務省

件名	日貨排斥問題之要件	綴	名
受信人	別紙ノ通	發信人	別紙ノ通
管主	通商局長	主任	第二課長
普通	一九九號	大正	昭和四年壹月卅日附
附屬書	通	附屬書	通
文書課發送	昭和四年壹月 發日 發送済	淨書	正(原稿)
			(淨書)
			(甲號川紙)

本件之閣下之横濱之商工會議所より在盤
 谷帝國領事館より今回南洋華僑ノ排斥ニ
 關シ今後各方面ニ對スル本邦貿易ニハ華僑ヲ介
 今般在暹 矢田部分使より

30 16

584

通案

414.1112

海外經濟事情

亞細亞局

通商三課

予

公 信 案

昭和三年十一月廿九日附在暹

公使館來往

第一〇一號附屬書寫

外 務 省

通報告アリタルニ付爲御參考右茲ニ送付ス
本件ニ關シ今般在暹 矢田部公使 ヨリ別紙寫ノ

件名日貨排斥問題之要三件

受 人 名 別紙ノ通り

發 信 人 名 武富通商局長

綴 込 名

30 17

文書課發送 昭和四年壹月 壹日發送済

主 通商局長 了 任 主

(起草略租) 年 月 日

第二課長 附屬書

文書課長

公 信 案

別紙

(甲號用紙)

583

受信人名

發信人名

暹羅由台灣總領事河原田總務長及 吉田外務次官
前之有制島新島長
大藏省理財局長
通信省官場長

武富通商局長

(原議用紙乙)

外 務 省

3.1

586
懸案

412.1112

公文書 案	外務省	主 通商局長 任 主 通商局長 <small>(起草大正四年二月五日)</small>	
		文書課發送 昭和四年貳月九日 發送済 <small>淨書 校 原稿</small>	通商局長 <small>普通第 〇 號 大正 昭和四年貳月八日 附屬書 通</small>
受 信 在 暹 人 名 矢 田 部 公 使		發 信 田 中 外 務 大 臣 人 名	
件 名 柳 日 貨 影 響 考 査 報 告 方 二 関 ス ル 件 名 込 綴		本 件 二 関 シ 昨 年 十 二 月 七 日 附 公 第 一 〇 五 號 貴 信 ヲ 以 テ 報 告 次 第 ア リ タ ル 如 右 附 屬 書 第 二 項 末 段 記 載 二 係 ル 本 案 昨 年 四 月 以 降 十 月 迄 ノ 般 況	

文書課長

公文書案

(甲 號 用 紙)

8 145

585

外務省 通工省 關島商務局長 農林省 松村農務局長 大藏省 前田理財局長 海軍省 官商管船局長 農田東京、井坂横濱、伊藤名古屋、齋藤大阪、鹿島神戸、齋藤 京都、各商工會議所會頭宛 關東紳商會々宛、 關西日進貿易協會々宛

(赤 背 紙) 卜

3.7

修正

4/2,11/2

公第〃〃號	昭和四年三月二日
在暹羅國	特命全權公使 矢田部保吉
外務大臣男爵 田中義一 殿	
排日貨影響查報方ニ關スル件	
本件ニ關シ本年二月八日附通二普通第一〇號御申越ノ所謂添付洩ノ	
表ハ左記ノ通りナリ	
左記	

通商局

第一課

昭和四年三月廿九日接受

外務省	送付相成申度ニ
	リ居レルニ付本一應御取調ノ上者速下至急御
	港總輸入額及本邦輸入額表添付候上相成

(原議用紙乙)

電信寫

589

五ト協成
南洋華僑
カキ
トニ

秘

昭和4 四七五一 暗

盤谷 本省

四月三日後着

矢田部公使

第七號

貴電合第一九四號ニ關シ

議事録中ニ於テ全支ノ排日排貨運動ノ終熄ニ付テ約セシムル處アリタル趣ナルニ付南洋華僑ノ排日ニ關スル措置振ニ付承知シ度ニ付御回電ヲ請フ當國華僑ノ排日ハ一ハ時日ノ經過ト共ニ幾分緩和ノ氣味トナリ且最近濟南事件交渉經過好轉ノ報道ト共ニ漸次緩和ノ傾向ヲ呈シ來リ又調印ノ報道ヲ見ルヤ直ニ取引復活セントスル向モアルト同時ニ未タ本國政府ヨリ排日取止メ方何等訓令無キヲ理

由トシテ取引開始ヲ拒ムモノモ鮮カラス當國華僑代表者ニシテ全國會議ニ出席シ居ルモノモアル次第ナルニ付右ヲ通シテ適當ノ方法ヲ講セシムレハ當方面排日終熄ニ多大ノ效果アリト思考セラレ

通
5/17

可ナリノ疲弊ト倦怠トヲ感シ且當國官憲ノ暴力團ニ對スル嚴重ナル取締等相俟テ日貨低制ハ大分弛緩ノ氣味アリテ彼等ハ或ハ人ヲ介シ或ハ自ラ蔭密ナル取引ヲ當地邦商トノ間ニ開始スルモノ弗々アリ爾來斯ノ如キ狀態ヲ繼續シテ本年二月ニ入り同月十三日大坂商船會社ノ江蘇丸ハ七三五噸ノ雜貨ヲ積載シテ入港シ來リ何等ノ障害ナク荷揚シ且暹米及木材併セテ三、五〇〇噸ヲ積ンテ同十八日出港セリ、其後三月十八日將々三井物産船舶部ノ葛城山丸ノ當地入港ノ前日當地三井物産ノ仲買人タル有數ノ支那商陳魯生ナルモノ白晝何者ニカ殺害セラレタル事件アリ右ハ排日ニ關聯スル暴力團ノ行爲ナリト噂セラレ爲メニ一時好轉ヲ示シタル日貨低制モ或ハ再ヒ逆轉スルニアラサルヤヲ疑懼セシメタルカ翌日入港シタル該三井船舶ハ綿密ナ

BII

414.1112

情報部

暹羅亞局

閣下
事務

通商局

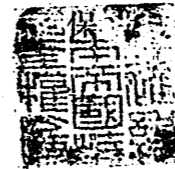
暹羅局長

公第 九 號

昭和四年四月八日

在暹羅

特命全權公使 矢 田 部



外務大臣男爵 田 中 義 一 殿

暹羅國ニ於ケル華商ノ排日貨狀況查報ノ件

暹羅國ニ於ケル華商ノ排日貨運動ニ關シテハ客年末期迄ノ狀態ニ付テハ既ニ客年十二月七日附公第一〇五號ヲ以テ報告申進メタル處ナルカ年末ニ近ツクニ從ヒ支那商側ニ於テモ半歲餘ニ亘ル排日ノ爲メ

昭和四年五月壹日 接受

BI

ル注意ハ之ヲ施シタルモ殆ント何等ノ障害ナク荷揚、荷積ヲ了シタ
 リ其ノ際該船ハ雜貨千百噸以上ヲ輸入シ碎米等三、四〇〇噸ヲ積込
 ミタリ越ヘテ更ニ三月二十五日及三月二十六日ニハ山下汽船會社ノ
 備船主基丸及立石丸夫々入港シ來リ前者ハ屑鐵一、五〇〇噸及暹米
 三、〇〇〇噸ヲ積ミテ同月二十九日出港シ後者ハ暹米及木材等五、
 六〇〇噸ヲ積載シテ月末出港セリ」是等ノ事例ヲ見ルニ當地ニ於ケ
 ル日貨低制ハ一方ニ於テ華商ノ倦怠、疲弊、官憲ノ取締ト他方日支
 間ニ於ケル濟南事件交渉ノ進捗ノ報道ト共ニ大分改善セラレ殊ニ波
 止場人足ニ至リテハ殆ント通常ノ如ク就業シ居リ華商ハ續々輸入セ
 ラル、邦貨ヲ成ル可ク目立タサル方法ニテ邦商ヨリ買取り居ルカ
 支那商カ末タ公然ト本邦ニ對シテ注文ヲ發セサル以所ハ末タ濟南事

BII

X
 若
 孤
 河
 湖
 行
 記

件ノ解決ヲ見サル間ハ幾分他ノ支那商及暴力團等ニ氣兼スル結果カ
 ト思考セラル
 三月末濟南事件解決、調印ノ報ハ當地支那新聞等ニモ掲載セラレタ
 ルモ低制ニ關聯スル何等ノ記事論說等ヲ掲載スルモノナシ昨年來ノ
 久シキニ亘ル排日ノ情性ハ根本事件ノ解決アルモ急激ニ回復セサル
 モノナルヤヲ疑ハシム、サレト前述ノ如ク低制カ次第ニ改善ニ向ヒ
 來リタル狀況アル上ニ更ニ根本的問題ノ解決ヲ告ケタル今日ナレハ
 遠カラス完全ナル恢復ヲ見ルヘキモノト想像セラレ、モ濟南事件解
 決ニ關聯シテ南洋地方排日禁止條項明確ナラスシテ現ニ華商中一方
 ニハ濟南事件解決ト共ニ直ニ公然取引ヲ開始シ得ヘントスルモノア
 ルト同時ニ他方ニハ假令該事件解決スルモ本國ヨリ右ニ關シ何等來

BII

懸案 595
臺灣二部

412.1112

公文書案	朱田部公使ヨリ右附属書第二項未段記載ノ 報名	通第八三號ヲ以テ及通報箇キタル如ク般在遣 在遣報告が公使報告及送附	本件ニ関シテハ日表ニ昭和四年一月廿四日附通二番	件名 批自貨物御方査報方ニ関スル件	受信人 商工省副島商務局長	發信人 武富通商局長	綴名 武富通商局長
主管 通商局長了	主任 通商局長	主筆 武富通商局長	起草 武富通商局長	校核 (原稿) 武富通商局長	淨書 (淨書) 武富通商局長	附屬書	昭利四年四月拾壹日附

文書課長

松宮

別紙

申號川紙

11 73

594

按信ニ
訂済

本邦
新嘉坡
香港

月別	新嘉坡	香港	日本	獨逸	計
本年	2,130,000	2,250,000	3,750,000	8,250,000	14,380,000
一月	2,130,000	2,250,000	3,750,000	8,250,000	14,380,000
十二月	1,759,900	1,757,000	1,000,000	8,500,000	12,006,900
十一月	1,900,000	2,300,000	3,300,000	7,000,000	14,500,000

示ヲ得サルヲ理由シテ尙ホ暹米賣渡ヲ背キセサル米商モ少カラス
一般取引ノ回復ニハ尙ホ相當ノ時日ヲ要スヘシト思惟セラル
左ニ客年十一月ヨリ本年一月ニ至ル三ヶ月間ノ新嘉坡、香港、本邦
獨逸ノ四ヶ國ヨリ輸入額ヲ示ス

故一果ニ對日本輸入額ノクマラシクナリテハ...

※ 本邦ノ輸入額中邦内(イ)盤出額邦外(ロ)盤出額同額(ハ)全額輸入額ニ別記アリ

× 對嘉坡輸入額中邦内(イ)全額輸入額ニ別記アリ

BII

以表
多下
送付

月	總輸入額 (銖)	本邦ヨリ輸入額 (銖)
四月	一二、六七二、五六九	一、二四八、九九三
五月	一三、四六六、〇六五	九二六、九五〇
六月	一五、八九八、一一〇	八一三、二〇五
七月	一一、五三〇、九一二	二一三、七八四
八月	一三、〇三九、三七五	八二、二五三
九月	一一、九六八、二一五	⊕
十月	一四、三九三、四九九	三六九、〇三七

昭和三年四月以降十月迄ノ盤谷港總輸入額及
本邦輸入額表 添付表ノ別紙寫ノ通
送付了ルニ付テ奉茲ニ送付ス

(昭和三年三月廿三附在暹公使館來信分テニ送中)

總輸入額及本邦ヨリ輸入額表ノ寫作製表
添付表

(原議用紙乙)ナ

外務省

外務省

十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月	總輸入額 (銖)	本邦ヨリ輸入額 (銖)
一四、三九三、四九九	一一、九六八、二一五	一三、〇三九、三七五	一一、五三〇、九一二	一五、八九八、一一〇	一三、四六六、〇六五	一二、六七二、五六九		一、二四八、九九三
		八二、二五三	二一三、七八四	八一三、二〇五	九二六、九五〇			九二六、九五〇
								三六九、〇三七

(赤梓紙)

外務省

通二普通第三五五號
 昭和四年四月十一日
 外務省通商局長 武富敏彦
 商工省商務局長 副島千八殿
 排日貨影響査報方ニ關スル件
 本件ニ關シテハ幾ニ昭和四年一月二十四日附通二普通第八三號ヲ以テ在暹羅矢田部公使報告及送附置キタル處今般同公使ヨリ右報告附屬書第二項末段記載ノ昭和三年四月以降十月迄ノ盤谷港總輸入額及本邦輸入額表別紙寫ノ通追送アリタルニ付右茲ニ送附ス

別紙添付 (赤梓紙)

外務省

十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月	總輸入額 (銖)	本邦ヨリ輸入額 (銖)
一四、三九三、四九九	一一、九六八、二一五	一三、〇三九、三七五	一一、五三〇、九一二	一五、八九八、一一〇	一三、四六六、〇六五	一二、六七二、五六九		一、二四八、九九三
								九二六、九五〇
								八一三、二〇五
								二一三、七八四
								八二、二五三
								三六九、〇三七

(赤梓紙)ト

外務省

通二普通第三五五號
昭和四年四月十一日
外務省通商局長 武富敏彦
商工省商務局長 副島千八殿

排日貨影響査報方ニ關スル件

本件ニ關シテハ幾ニ昭和四年一月二十四日附通二普通第八三號ヲ以テ在暹羅矢田部公使報告及送附置キタル處今般同公使ヨリ右報告附屬書第二項末段記載ノ昭和三年四月以降十月迄ノ盤谷港總輸入額及本邦輸入額表別紙寫ノ通追送アリタルニ付右茲ニ送附ス

別紙添付 (赤梓紙)イ



a

602

電信寫

昭和4 五八一七 暗

本省

四月二十日前着

矢田部公使

第一〇號

本官發馬尼刺宛電報

第一號

先日來貴地發U、P放送通信ハ濟南問題解決ニ拘ラス貴地華僑ハ
 排日ヲ繼續スヘキコトヲ報道シ居リシカ更ニ右ハ本國ヨリノ直接
 命令ニ依ルモノニシテ暹羅海峽殖民地佛領印度等モ同様ナルヘク
 而シテ該命令ノ「スロウガン」ハ王正廷打倒ニアル旨ヲ報道セリ
 此ノ種報道ハ當地多數ノ支那新聞ニモ轉載セラレ最近排日氣勢漸

次緩和ノ徴アルモ尙多數華僑ハ公然對日取引開始ヲ企圖シ居レル
 當地ノ現狀ニ對シテ多大ノ惡影響ヲ與ヘツツアルコト勿論ニシテ
 當方參考ノ爲貴地真相承知シ置キ度キニ付電報ヲ請フ尙當地有力
 華僑等ハ何等此ノ種ノ命令ヲ承知セサルモ對日取引ノ未タ回復ヲ
 見サルハ事實ニシテ右ハ在支同機關ヨリノ通信ヲ候チ且條約改訂
 問題並ニ漢口南京事件交渉ノ經過ヲ觀察シ居ル爲ナリト稱シ居レ
 リ

南日抄

Handwritten signatures and marks at the bottom right of the document.

始シ輸入邦貨ニ關シテモ著敷緩和ヲ見タルハ事實ナリ尤モ邦貨ノ輸入ニ關シテハ華商中今尙ホ本國政府ヨリノ訓令ニ接セサルヲ理由トシテ注文ヲ肯セサルモノナキニアラサルモ是等ト雖モ眞ニポイコツトヲ繼續スル熱心ヲ有スルモノトハ認メラレス實ハ輸出入米ニアリテハ不作ノ爲メ輸出能力少カラズ減縮ノ事實アリ又輸入邦貨ニアリテハ不作ニ伴フ地方民ノ購買力減退竝ニ日本商品ノ在荷幾分過超ノ氣味アル事實（本年一月以後四月一杯迄ニ日本汽船ニテ輸入シタルモノ、ミニテ約五、八五〇噸ニ及ヒ其ノ外ニ在本邦華商ト直接取引關係ヲ有スル當地華商ノ直接輸入ニ係ルモノモ相當ノ額ニ上ルヘシト稱セラル）ノ爲メ輸入商トシテハ此際買進マサル傾向アリ、加フルニマニラ方面ニテ濟南事件解決ニ拘ラス排日運動ヲ極力繼續スヘ

BII

ケル華僑ノ
事ノ代
ト
414.1112

情報部

陶
係
者
二
三

通商局

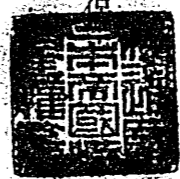
公第五二號

昭和四年五月八日

在暹羅

特命全權公使 矢田部

外務大臣男爵 田中 義一 殿



暹羅ニ於ケル華僑排日ポイコツトノ經過ニ關シ
報告ノ件

暹羅ニ於ケル華僑排日ノ濟南事件解決直後ノ情況ニ關シテハ客月人
由附公第二九號ヲ以テ申報致シオキタル處其ノ後ノ情勢ヲ見ルニ支
那人精米所ハ今日ニ於テハ最早殆ト制限ナク邦人トノ精米取引ヲ開

既報ノ返
ト

昭
和
四
年
六
月
五
日
接
受

BI

スルモノニアラス寧ろ近來支那内地ニ發達シ來リタル紡績業、燐寸製造業其ノ他ノ産業ノ助長策トシテ支那商品ノ海外販路開拓ニ資セントスル經濟的意味ヲ有スルモノナリ從テ獨リ日本ニ限ラス或ハ英國、米國等苟モ支那製品ト競争ノ立場ニ在ルモノハ何國タルヲ問ハス之ヲ排斥セントスル傾向ヲ有スルモノナリ、是即チ支那商ノ經濟的愛國心ヨリ來レルモノニシテ他國商人カ其ノ母國ノ商品ニ關シテ同様ノ觀念ヲ有スルト全ク同一ナリ第二ニ屬スルモノハ支那ノ内狀外交等ニ關シ何等定見アルニアラス常ニ新聞報道等ニ左右セラレテ活動スル輩ニシテ第三階級ノ民衆ハ所謂附加雷同ノ徒ニスキササルナリ而シテ是等三階級ノ外ニ政治屋トモ稱スヘキ國民黨員アリ彼等ハ常ニ何等カノ問題ヲ促ヘテ一般民衆ヲ使強要シテ金錢ヲ集メ之ニ

BII

シ等ノ報道ノ傳ハルアリ當地ニ於テモ支那人政客乃至其ノ部下運動員等ノ爲メニスル運動モ尙終熄セサルモノアリ勞々内々邦商トノ取引ヲ希望シ實ハ既ニ取引ヲ内密又ハ間接ニ開始セルモノスラモ表面ハ斯ク生ヌルキ態度ヲ採リテ可成他人ニ先チテ其ノ態度ヲ明カニスルコトヲ避ケ居レルモノト認メラル

華僑ノ斯ノ如キ態度ニ關聯シテ當地ノ有力ナル華商ノ語ル所ヲ綜合スルニ大要左ノ如キモノアリ曰ク

暹羅ニ於ケル華僑ハ大体之ヲ三階級ニワカツコトヲ得ヘク第一階級ニ屬スルモノハ相當教育モアリテ世界ノ大勢及本國ノ狀況ニ付テ多少ノ理解アルモノニシテ彼等ノ日貨抵制ヲ行フハ單ニ日支兩國間ニ發生スル各種紛争解決ノ手段トシテノミ之ヲ利用セントス

BII

ヨリテ生活スル徒ニシテ今回ノ日貨抵制ノ如キ場合ニハ其ノ手下ニ更ニ秘密結社員ヲ使驅シテ商人等ヲ強要シタリ、今日日支兩國間ノ紛争殆ト解決シ若クハ解決セントシツ、アルニ拘ラス日貨抵制ノ氣分カ今尙ホ全然終熄ヲ見ルニ至ラサルハ一ハ前記ノ如ク大商人カ經濟的愛國心ノ覺醒ニ依リ成ル可ク支那製品ノ輸入ニ努力スルト同時ニ他方暹羅政府ノ嚴重ナル取締アルニ拘ハラス末タ多少政治屋ノ蔭密ナル活躍及宣傳アル爲ニシテ殊ニ最モ重要ナル原因トシテハ盤谷支那商ノ供給先ハ主トシテ暹羅田舎地方ノ支那小賣人ナル處是等各地ノ支那小商人ハ元ヨリ日支間ノ實狀等ヲ知ル由ナク單ニ盤谷ノ支那新聞ノ論調ニ從ヒ或ハ未タニ秘密結社員等ノ強迫、暴行、宣傳等ノ余勢ニ節レテ敢テ進ンテ日貨ノ注文ヲ發セントナサ、ル爲替

BII

盤谷支那商ニ對シテ何等注文來ラサル爲舊ノ如ク活氣アル取引ヲ見サルナリ云々
尙當地國民黨支部又ハ總商會等ニ對シテ本國ヨリ排日停止方ニ關スル訓令アリタルヤ否ヤニ關シテハ全ク其ノ眞實ヲ突キ止ムルコト不可能ナリ商務總會幹部ト關係ヲ有スル一有力支那商ノ談ニ依レハ蔣介石ヨリ二回停止訓令ニ接シ右ニ關シ過般會議ノ結果排日運動期間中ニ於ケル釀金ノ殘額處分ノ方法竝ニ地方華僑ニ對スル周知方法等ヲ講究スル必要モアリ旁々今後一ヶ月ヲ期シテ排日ヲ停止スルコトトナリタリト云ヒ又或ハ全然斯クノ如キ訓令ノ接到ヲ否認スルモノモアリ乍併何レニスルモホイコツトノ餘勢尙ホ全ク終熄ニ至ラサルノ事實ナルト共ニ最早其ノ終熄ハ單ニ多少ノ時日ノ問題ニ過キサ

BII

コトモ亦明カナリ現ニ本年初以來邦船ノ入港スルモノ七隻ニシテ其ノ荷物ノ陸揚積込ニモ何ノ障害ナク、支那商スラ自ラ直接本邦ヨリ邦貨ノ輸入ヲ開始シ現ニ本邦商品ノオヴァーストツケノ實狀ヲ呈シ居ル次第ナリ

尙前記談話ヲナセル支那商ノ云フ所ニ依レハ今次ノ日貨抵制中支那綿糸布類ノ當地輸入相當多量ニ上ルル處支那製品ハ其ノ生産費低廉ナル爲メニ優ニ他國品ト競争ニ堪ヘ得ルモノナリト稱セリ今後支那商品ノ南洋方面進出ハ相當注意ヲ要スハ事實ナリト思考セラル右何等御參考迄ニ報告ス

BII

本多
414.1112

通商局

昭和四年五月廿七日

朝保秘第一〇四〇號

朝鮮總督府警務局

シヤム國ニ於ケル日貨排斥狀況聞込ノ件

首題ノ件ニ關シ五月十三日附慶尙南道知事ヨリ左ノ通り受報セリ

左記

神戸東和汽船株式會社所屬船東進丸（四四四三噸）ハ五月四日朝佛領印度支那サイゴンヨリ西貢米五五九五噸ヲ積載シ釜山ニ入港シタルガ船客ニシテシヤム國バンコクニ三十年間居住シ旅館ヲ經營シ居レリト云フ一内地人ハシヤム國內ニ於ケル日貨排斥ノ狀況ニ付左記ノ如キ言動ヲ洩セリ右聞込ノ儘報告ス

記

4.7.17

朝鮮總督府

昨年五月支那山東出兵ニ依リ南支シヤム國方面ニ於テハ日貨排斥猛烈トナリ居留邦人ハ困窮ノ極ニ達シ一日モ早ク日支交渉ノ圓滿解決ヲ希望シ居レリ

シヤム國ハ獨立國ナリト雖モ地理的關係ヨリ支那人ノ半永住者多ク隨テシヤム國人トノ混血兒大部分ヲ占メ居ル關係上國民政府ノ宣傳行キ亘リ日貨排斥ハ好ク徹底シ居レリ殊ニ同國ノ商權ハ殆ンド支那人ノ手ニアル爲埠頭ノ苦力ニ至ル迄日本船入港シタル場合ハ高率ノ荷役料ヲ支拂フ旨ヲ告グルモ之ニ應ゼザル狀態ニ在リ又偶々外國船ニヨリテ日貨ガ市場ニ現ハレタルトキハ反日會ニ於テ其賣買人ヲ監視シ若シ支那人ノ手ニ移リタル等ノコトアル場合ハ直チニ掠奪沒收スル等ノ方法ヲ採リ僅カニ日本人又ハ外國人ノ手ニアル間ノミ沒收

シヤム

朝鮮總督府

ヲ免カルル狀況ナルガ何分シヤム國民ノ大部分ハ支那人系デアリ且ツ商權ハ殆ンド支那人ノ獨占ナレバ最近日本船舶ノ出入モ頓ニ減少シタル感アリ

尙亦同國ハ不良鮮人徒輩ノ入國スル者多ク其ノ大部分ハ「モルヒネ」「ヨカイシ」ノ密賣ヲ業トシ不正ノ利得ヲ働キ居リテ日本人娼婦ヲ妾トナシ贅澤ナル生活ヲ爲シ居ルモノモ尠カラザル様見受ケタリ以上ノ狀態ナル爲邦人在留者ハ徒食シテ時機ノ到來ヲ待チツツアルノ實況ナリ

本書發送先
 内閣拓殖局長
 辨務省通商局長
 内務省警保局長

昨年五月支那山東出兵ニ依リ南支シヤム國方面ニ於テハ日貨排斥猛烈トナリ居留邦人ハ困窮ノ極ニ達シ一日モ早ク日支交渉ノ圓滿解決ヲ希望シ居レリ

シヤム國ハ獨立國ナリト雖モ地理的關係ヨリ支那人ノ半永住者多ク隨テシヤム國人トノ混血兒大部分ヲ占メ居ル關係上國民政府ノ宣傳行キ亘リ日貨排斥ハ好ク徹底シ居レリ殊ニ同國ノ商權ハ殆ンド支那人ノ手ニアル爲埠頭ノ苦力ニ至ル迄日本船入港シタル場合ハ高率ノ荷役料ヲ支拂フ旨ヲ告グルモ之ニ應ゼザル状態ニ在リ又偶々外國船ニヨリテ日貨ガ市場ニ現ハレタルトキハ反日會ニ於テ其賣買人ヲ監視シ若シ支那人ノ手ニ移リタル等ノコトアル場合ハ直チニ掠奪沒收スル等ノ方法ヲ採リ僅カニ日本人又ハ外國人ノ手ニアル間ノミ沒收

朝鮮總督府

414,112



通商局

昭和四年五月廿七日 朝鮮總督府 接受

昭和四年 朝保秘第一〇四〇號 朝鮮總督府警務局
五月廿七日

シヤム國ニ於ケル日貨排斥狀況聞込ノ件

首題ノ件ニ關シ五月十三日附慶尙南道知事ヨリ左ノ通り受報セリ

記

神戸東和汽船株式會社所屬船東進丸(四四四三噸)ハ五月四日朝佛領印度支那サイゴンヨリ西貢米五五九五噸ヲ積載シ釜山ニ入港シタルガ船客ニシテシヤム國バンコクニ三十年間居住シ旅館ヲ經營シ居レリト云フ一内地人ハシヤム國內ニ於ケル日貨排斥ノ狀況ニ付左記ノ如キ言動ヲ洩セリ右聞込ノ儘報告ス

記

不923部



616

懸案

海外経済事情
性根部

暹羅亞局

4147112

文書課 發送 昭和四年六月廿四日 發送済

主 通商局長 (起草昭和四年六月廿四日)

任 第二課長 (浅田)

通二 普通 合 一 〇 七 號 昭和四年六月廿四日 附屬書 通

人名 爲王有 川久保 赤松 局長
大森 村松 局長
進代 名 字 崎 局長
三浦 人名 大森 村松 局長
進代 名 字 崎 局長

件名 暹羅國ニ於ケル華商ノ排外貨
状況査報ノ件

本件ニ關シ今般在暹 矢口部 分使ヨリ別紙寫ノ
通報告アリタルニ付爲 御参考右茲ニ送付ス

公 信 案

外 務 省

（昭和四年六月廿八日附在暹公使館來信第二九號寫並附屬書作成ノ上添付ノコト）

24 26

文書課長

公 信 案

別紙

（甲號用紙）

24-76

615

朝鮮總督府

ヲ免カルル狀況ナルガ何分シヤム國民ノ大部分ハ支那人系デアリ且
ツ商權ハ殆ンド支那人ノ獨占ナレバ最近日本船舶ノ出入モ頓ニ減少
シタル感アリ

尙亦同國ハ不良鮮人徒輩ノ入國スル者多ク其ノ大部分ハ「モルヒネ」
「ヨカイン」ノ密賣ヲ業トシ不正ノ利得ヲ働キ居リテ日本人娼婦ヲ
妾トナシ贅澤ナル生活ヲ爲シ居ルモノモ尠カラザル様見受ケタリ以
上ノ狀態ナル爲邦人在留者ハ徒食シテ時機ノ到來ヲ待チツツアルノ
實況ナリ

本書發送先
内閣拓殖局長
外務省通商局長
内務省警保局長

618

海外經濟事情

4/4/1112

公 信 案

昭和四年五月 八日附在暹羅館來電

第五ニ號寫並附屬書作成ノ上ニ添付ノコト

外 務 省

本件ニ關シ今般在暹羅矢回部ヲ使ヨリ別紙寫ノ
通報告アリタルニ付爲御參考右茲ニ送付ス

件名 暹羅ニ於テハ華僑排日ト云フ
經過ニ對シ報告ノ件

受信 暹羅商務總會
人名 外七名別表ノ通告暹宛
發信 武富通商局長

文書課發送 昭和四年七月八日 發送濟 淨書
主 通商局長 閣下
管 第二課
通二 第一七六號 昭和四年七月六日 附屬書
附屬書 通

5 169

文書課長

別紙

(甲號用紙)

617

4/4/1112

4/4/1112

海外經濟事情

手書

手書

手書

公 信 案

昭和四年五月 八日附在暹羅館來電

第五ニ號寫並附屬書作成ノ上ニ添付ノコト

外 務 省

本件ニ關シ今般在暹羅矢回部ヲ使ヨリ別紙寫ノ
通報告アリタルニ付爲御參考右茲ニ送付ス

件名 暹羅ニ於テハ華僑排日ト云フ
經過ニ對シ報告ノ件

受信 暹羅商務總會
人名 外七名別表ノ通告暹宛
發信 武富通商局長

文書課發送 昭和四年七月八日 發送濟 淨書
主 通商局長 閣下
管 第二課
通二 第一七六號 昭和四年七月六日 附屬書
附屬書 通

5 168

文書課長

別紙

(甲號用紙)

藤田東京

井坂横浜

岸本名古屋

稲畑下坂

鹿島神戸

稲垣京都

田南洋協会々長

稲畑日暹貿易協会々長

各商工会派所々長

(原議用紙乙)

外務省

逕啓

昭和四年十月九日

外務省通商局

課長殿

三井物産株式會社

本店業務課長

三井物産株式會社

拜啓益々御多祥ノ段奉大賀候

一國民黨支部設置禁止ノ事

右ニ關シ弊社盤谷出張所ヨリ別紙ノ通り報告有之候ニ就テハ既ニ貴官ニ於レテモ御了承ノ御事カトモ存候得共爲念御參考迄ニ右供貴覽候

拜具

三井物産株式會社

三井物産株式會社

三井物産株式會社

藤田

立石

昭和四年九月十三日
本店業務課 御中

盤谷出張所

一、國民黨支部設置禁止ノ事

暹羅在住支那人中ニハ世界各地ニ於ケル例ニ倣ヒ當地ニ國民黨支部ヲ公
式ニ設置セント企圖スル者アルコトヲ豫テ聞知シ其成行ヲ注視致居候處
今般其主謀者カ暹羅政府ニ對シ支部設立ノ認可ヲ申請セシニ政府ハ

一、暹羅ト支那トハ政治組織ヲ異ニスルヲ以テ自國內ニ斯ル結社ノ存在
スルコトハ國情ニ適セザルコト

二、暹支兩國政府ノ方針衝突ノ場合、國內ノ平和ト秩序ガ内部ヨリ容易
ニ擾亂サルル危險アルコト

ヲ理由トシ申請ヲ却可シタルノミナラズ憲兵司令官及警視總監等ニ對シ
支部設置運動或ハ集會ヲナスモノアラバ解散又ハ逮捕スベキコトヲ嚴命
セシ由ニ御座候

黨支部設置ノ如キハ政治的見地ヨリ許可スヘキモノニ非ラザルハ勿論經
濟上ヨリ見ルモ將來排日排貨再發ノ場合政府ノ取締ハ一層困難ヲ加ヘ暹
羅自体ノ損失ヲ大ナラシムルノミナラス在留邦商ハ容易ニ窮境ヲ脱シ得
ザルベシト憂慮罷在候處前記ノ如ク政府ガ國內ニ於ケル國民黨員ノ集會
結社ニ彈壓ヲ加フルコトニ決シタルハ欣快ニ堪ヘザル次第ニ御座候

草々